

平成29年度 山口県教育委員会 予算案発表!

～医療的ケアを必要とする幼児・児童生徒の教育の充実等が盛り込まれる～



発行
山口県教職員団体連合会
代表者 小坂 朝之
編集人 島村 暢之
山口市大手町教育会館内
電話 (083) 922-2049番
FAX (083) 921-0907番
E-mail:
kyoren@orange.ocn.ne.jp
ホームページ
http://www.kenkyouren.com



2月22日(水)に、県教育委員会が平成29年度当初予算案を発表しました。予算額は、山口県の一般会計が前年度比3%のマイナスとなる中、教育委員会所管の予算は、前年度比0.9%のマイナスに留まりました。内容は、「やまぐち型地域連携教育」の強化推進、いじめ・不登校対策、部活動の負担軽減対策、特別支援教育の充実、学力向上等に対応するための予算編成となつていきます。

県教連がこれまでの交渉で要望してきた内容も新規事業として盛り込まれたり、現状維持という形で反映されたりしています。

知・徳・体の調和のとれた教育の推進

- ・学習指導要領徹底事業
- ・小・中・高を通じた英語教育強化事業
- ・小・中学校における起業体験活動モデルの構築
- ・小中一貫教育推進事業
- ・いじめ・不登校等対策強化事業
- ・S・Cの配置及び教育相談体制の充実
- ・不登校事案等に対しS・C、S・S・W等の専門家を派遣し、心のケア・早期復帰を支援
- ・生徒指導・相談体制充実強化
- ・児童生徒支援加配の重点加配 136人
- ・生徒指導緊急加配教員の配置 5人
- ・危機管理緊急加配教員の配置 2人
- ・インクルーシブ教育システム推進事業
- ・医療的ケアを必要とする幼児・児童生徒が宿泊学習や修学旅行等の校外活動に参加する機会を確保するため、看護師が同行して支援

質の高い教育環境づくりの推進

- ・学校安全総合推進事業
- ・熊本地震等を踏まえ、学校と地域、市町防災部局との連携を強化し、災害発生時における児童生徒や地域の人々の安全に貢献できる体制づくり
- ・学校と市町防災部局等関係機関をつなぐ学校防災研修会
- ・教員資質能力向上推進事業
- ・実践的指導力を有する教員志願者養成のための「山口県の教師塾」の取組充実
- ・複数の先輩教員からなる「メンター」(※)チームによる校内人材育成システムの構築に向けた調査研究

(※)進路や生き方を決する上で、先輩から助言をもらうこと

生涯にわたる県民総参加の教育の推進

- ・「地域協働ネットワーク」による温かい絆づくり推進事業
- ・「学校・家庭・地域の温かい絆づくり」家庭支援事業として、学習機会の提供、親子参加型行事、情報提供や相談対応等の実施
- ・土曜日の教育活動支援事業として、外部人材の参画による特色・魅力のある教育プログラムの実施
- ・「平成の松下村塾」づくり推進事業
- ・明治維新の時代を学ぶ機会として、ふるさと学習ツアー「維新の志を訪ねて」を実施

主な新規事業

- ・**新 高校コミュニティ・スクール推進事業**
導入済みの3校に加え、4月から高校等13校に導入し、地元地域に限定することなく、幅広く各テーマに関する高い知見や専門性を有する大学や企業等と連携し、テーマに応じて課題解決に取り組み
- ・**新 JAXA連携宇宙教育推進事業**
JAXAの衛星運用や利活用の拠点が山口県に設置されたことを受け、シンボリックイベント「やまぐちコスミックデー」の開催やJAXAスタップによる出前講座の実施、教員研修等、「宇宙」を教材とした教育活動を実施する
- ・**新 伝統・文化教育実践研究事業**
地域の伝統・文化を活用した教育活動のあり方について研究指定校での取組を通して、その成果を伝統・文化教育研究会で発表したり、啓発リーフレット等を作成したりして郷土の理解や誇りを育む教育を推進する
- ・**新 やまぐち運動部活動応援事業**
トップスポーツクラブや地域に根ざした企業・団体が応援団となり、指導者派遣や合同練習会等を実施する
- ・**新 運動部活動指導者(外部指導者)を対象とした、指導力向上や適切な部活動の推進についての研修会を実施する**

平成29年度予算案 発表を受けて

来年度の教職員定数は児童生徒の減少に伴い県全体で84人減となります。現下の厳しい予算状況の中で、小1プロブレム解消のための30人学級加配教員、35人学級化のための教員配置、生徒指導・相談体制充実のための教員配置等の事業は継続され、昨年度並みとなっています。

しかし、各種報告や会議・研修会の精選、学力向上や体力向上の取組、支援を要する児童生徒や保護者・地域への対応等、現場の抱える課題は山積しています。これら様々な課題を改善し、教職員が「子供たちと向き合う時間」をしっかりと確保できるように、今後も粘り強く要望・交渉を続けてまいります。



熱演する瀬古 利彦氏

平成29年1月21日(土)に、ニューメディアプラザ山口(山口市)において、平成29年度県教連資質向上講座を開催しました。今年度は、瀬古 利彦氏(DENNANランニングクラブ監督)を招聘し、「心で走る」と題して御講演いただきました。

瀬古氏は、恩師との出会いや現役時代に大切にしてきたことを、ユーモアを交えながら紹介されました。ライバルであった宗兄弟とのレース中、大きな歓声があがり、会場が温かい雰囲気になりました。また、指導者として、多くのマラソンランナーを育ててきた経験に裏付けされた指導理論や選手との関わり方等に話が及んだ時には、一転して、参加者は真剣な表情で、耳を傾けていました。講演の中で紹介された「継続は力なり。しかし、情性の継続ではだめになる。」や「若い時に流さなかった汗は、年をとって涙となる。」、「(練習は)同じことの繰り返しだが、同じではない。」等の言葉は、現場で子供たちに紹介したくなるものばかりでした。

当日は一般の方も含め、170名を超える参加者があり、講演会終了後に次のような感想が寄せられ、講演会の充実ぶりが伝わってきました。

- ・マラソンが、孤独で我慢がいるものだと思いました。努力の天才に、今からでもなりたいと思います。
- ・ユニークな話の中に、教育の真髄に迫る言葉がたくさんありました。瀬古さんのように、努力を続けられるような人を育てたいと思います。
- ・私の人生の半分(マラソン歴30年)をつくらせてもらった人に会うことができ幸せでした。資質向上講座を一般公開していただき、ありがとうございました。

講演に先立ち、県教連の活動等を紹介する時間を取ったところ、一般参加者から「県教連の活動をはじめて知りませんでした。今後の県教連の活躍を期待しています。」等のエールもいただきました。今後は、会員の方々や資質向上に繋がる活動を展開するとともに、広く県民の方々に県教連の活動をアピールする機会を作り、県教連サポーターを増やしていきたいと思っております。



県教連 資質向上講座
瀬古利彦氏
人材育成の真髄を語る!